

1. 人口ビジョンの分析内容など

発言者	委員意見	事務局回答	具体的な対応・資料への反映
有田委員	p.7 の自然動態において、実際のところ追加して検証が可能であれば、5歳未満の子供の数があっても良いのではないかと。目標値として出生率だけでなく、UI ターンで入ってくる子供も含めた5歳未満の数を設定したほうが良い。	5歳未満人口は重要だと思うので、その視点も加えながら推計を検討させていただく。	UI ターン者の内訳に、 <u>5歳以下の子どもも含めた世帯の転入の想定を記載</u> する。 【参考資料-1 p.7・p.9】
有田委員	人口以外に世帯という考え方も入れても良いのではないかと。例えば近年 65歳以上で独居や夫婦のみの世帯が増え、子育て世帯で言うと、三世代が減り、核家族が増えてきている。家族の形が変わってきている中で少子化対策や子育て支援、地域の課題を解決していかなければならない。 <u>今後10年間を考えた時に、世帯、家族の形が変わってきているということについて、言及があっても良いのではないかと。</u>	人口を考えるうえで世帯の考え方は必要と思うので、可能であれば加えたい。	<u>人口ビジョン本編の現状分析に「3世代同居家族の推移」についても追加</u> する。 世帯類型は三世代世帯数が過去20年間で半減、一方で単独世帯は増加している。また高齢者（単独・夫婦のみ）世帯の割合は年々増加している。 【参考資料-1 p.10】
有田委員	p.7 具体的な取組目標において、社会動態②③④で「抑制」という言葉が使われているが、例えば②であれば <u>町外転出者の「減少」という言葉に変えたほうが良い。</u>	「抑制」の言葉はイメージ上良くないので修正させていただく。	取組目標の表現を「抑制」から「減少」に修正する。 【参考資料-1 p.7】
堀江委員	人口を支えるためにこの地域に力があるのか、その分析が必要ではないか	町民に今後奥出雲町が成り立つために後継者がいないという意見を頂戴してきた。目標の人口を確保することで、それぞれのまちに住む人によって社会を形成していくことになる。どれが先でどれが後というわけにはいかないが、合わせて考えていく必要がある。	図「サービス施設の立地する確率が50%及び80%となる自治体の人口規模」により <u>人口規模とサービス施設立地の関係を示す。</u> 【参考資料-1 p.11】

2. 計画の構成

発言者	委員意見	事務局回答	具体的な対応・資料への反映
植田副会長	<p>(基本構想) 10年間で、(基本計画) 5年・5年で動くが、なぜ5年・5年の区切りか気になっている。これだけ時代がスピード化されていると、5年待つて次ではなく、せいぜい3年か4年ごとには見直しをして計画を立てるのが本来ではないかと思う。また、3年たった時に必ず検証をする。</p>		<p>総合計画は自治体の政策全体の大きな方針を規定するものであり、具体的な政策については、総合計画に沿って、都市計画、福祉、環境、教育などの分野別計画を策定する。</p>
植田副会長	<p>過去みていると、結果が出ていない事業にも予算があるので翌年も継続するという流れをある程度感じたので言わせていただいている。</p> <p>日々チェックする仕掛けづくりをしていただきたいと思う。</p>		<p>各事業については、分野別計画に基づき中期財政計画や予算編成前の事業検証の中で見直し・改善を行う。</p> <p>また、人口減少対策(総合戦略)については、これまで通り、毎年事業評価を行い、各課横断、住民との協働により、事業を推進する。</p> <p><u>基本計画の中に、計画の運営方針(PDCA、推進体制など)を記載する。</u></p> <p>【基本構想 p.3】</p>

3. 文章表現などの修正（基本構想・基本計画）

発言者	委員意見	事務局回答	具体的な対応・資料への反映
堀江委員	基本構想 p3 人口減少や少子高齢化の進展のところ「進展」という言葉が使われている。		<u>「進展」→「進行」に変更</u> 【基本構想 p. 1】
藤原（直）委員	人材の育成目標のようなものが基本目標の中の目標 4 や 5 に具体的に入っていたほうが努力目標として役立つのではないか。具体的な人材のイメージを入れる必要がある。さらに、それに向けた幼児教育からの教育環境の整備をうたっておく必要がある。		<u>「奥出雲町のめざす子ども像」（2019年策定）について記載</u> する。 【基本構想 p. 16】
石原委員	p24 の目標 4 で「伝統行事や集落活動を支えあう仕組みづくりを見直す」そういうものを育てていくというのも重要ではないかと思うが、その辺りいかがか。	人口減少の中で伝統行事や自治会活動は今の状態では（継承が）厳しい。特に若者の負担増が大きく、若者がそれを避けるために地域を出ていくという話もある。行政が自治会や伝統行事を担うことは難しいが、小さな拠点づくり等見直しを地域で考えていくような形が今後必要ではないかということで記述をさせていただきたい。	基本目標④の中で以下の通り、加筆・修正 ⇒人口減少により集落機能が低下する中で、伝統行事の <u>継承</u> や集落活動、支えあう <u>体制が維持できる</u> <u>ように地域の仕組みづくり</u> を見直す必要があります。 【基本構想 p. 31】
島会長	脚注を付けて、参考資料 1,2 の内容について、素人にもわかりやすいよう丁寧な解説を入れてほしい。		<u>ページ内に脚注を設ける。</u>
島会長	基本目標⑦産業と暮らしを支えるインフラをつくる、これが今挙げられているデジタルの話だが、 <u>施策分野に行を新たに追加し、最新デジタルへの積極的な取組みをうたってほしい。</u>		基本構想における基本目標⑦に <u>情報通信基盤に関する事項を追加して記載</u> する。（後述 10.情報通信） 【基本構想 p. 31】

			<p><u>基本計画「④地域情報化の推進」で対応</u></p> <p>⇒情報基盤整備に関して町民と情報共有することで理解と協力を得ながら、～Society5.0の実現にむけた整備を進めます。</p> <p>⇒第5世代移動通信システム（5G）など新技術の活用について、官民連携した取組を進めます。</p> <p>【基本計画 p. 28】</p>
有田委員	<p>（基本計画-p28）ブランドがあるから若い人が選択するのではなく、課題が出てきても<u>好きな町の為に解決できるような人を育てる</u>ということだと思ふ。すべてをブランドという言葉で括ってしまうと、ブランドが無くなったら出ていくのかという話になってしまう。その辺りは<u>言葉をうまく定義して使い分けていかない</u>といけな</p>	<p>ブランドイメージについても切り離した考え方で内容を精査していきたい。</p>	<p>シティプロモーションは、<u>奥出雲ファンづくりを目的としている</u>のに対し、シビックプライドは<u>地域での生活や関わりを通じて育まれる地域貢献意識（自身が主体となって地域課題を解決しようとする意識）を示すもの</u>と定義づけ文章表現を再考する。</p> <p>（訂正例）</p> <p>①定住の促進 【基本計画 p. 12】 施策を取り巻く社会情勢：旧）この世代に<u>地域の魅力を伝え、⇒新）人口減少に歯止めをかけるにはこの世代と地域との関りを深め、</u></p> <p>②官民協働によるシティプロモーション 【基本計画 p. 30】 奥出雲町の状況：旧）地域住民の郷土愛や地域貢献意識（シビックプライド）の醸成、交流人口、関係人口の創出、移住定住人口の拡大⇒新）<u>地域住民の郷土愛や地域貢献意識（シビックプライド）の醸成、交流人口、関係人口の創出、移住定住のきっかけづくり</u></p>

4. 基本構想

発言者	委員意見	事務局回答	具体的な対応・資料への反映
堀江委員	地域ごとに計画を立てるものがないので、示唆するものを基本構想に入れられないか。それぞれの地域の特徴をとらえた形で基本構想ができないか。 それぞれの地域に特徴があるので、活かしながら地元らしいことができないかと思う。		<u>「4.地域の特徴」の項目を追加し、地区別の特徴・について記載。</u> 地域ごとの計画については、今後の「小さな拠点づくり」の中で検討していく。 【基本構想 p.8】
福田委員	p.21 の定住先として「選ばれる」地域づくりは、まさにその通りだと思う。道のりは違っても、この4つの目標にたどり着くよう、強い気持ちで進めていってほしい。		基本計画と総合戦略施策の紐づけについて説明する。 【基本構想 p.36 体系図】 【基本計画 p.1 表】

5. 成果指標・住民の協働指標

発言者	委員意見	事務局回答	具体的な対応・資料への反映
有田委員	基本計画 p.8 に関して、 <u>KGI として就業者数が挙げられている。</u> ここでの問題は担い手育成についてなので、そこも踏まえた指標の設定が必要。 <u>25～40 歳くらいの層を対象にした指標で、分母が従業員数、分子が就業者数のように、その中でどれだけ担い手が働いているのかわかると良い。</u> 基本計画の p.10 に関して、 <u>奥出雲町内では横田高校を卒業後に帰ってくる人も指標に入ってくる。</u> できるかどうかも含めてだが、 <u>邑南町や川本町では卒業生の中で何人戻ってきたか</u> トレースしている。	今後計画の中で検討していきたい。	基本計画「①経営支援・担い手育成」の KGI に <u>「就業者のうち、25 歳から 40 歳の年齢層の占める割合」を追加。</u> 【基本計画 p.10】 基本計画「①定住の推進」の KGI に <u>横田高校生を指標に含めることは困難。</u> 【基本計画 p.12】

村尾（紀）委員	「みんなが協力できること」の項目があるが、町民の役割を明確にしてほしい。	皆さんに共通してお願いさせていただくもので、行政からの押し付けにならないような表現の仕方をしている。表現について、すべてを改善できるかどうかは疑問だがご意見は受け止めたい。 個別計画の中での取組みが弱く、何をしたいのか見えないというのはその通りだと思う。イメージにあるように、どのような関わりができるか、体系的に表現する作り込みも検討させていただきたい。	基本計画各ページの「みんなができること」の表現を、依頼表現から行動表現に変更。 「●●しよう」⇒「●●する」 【基本計画に反映】 基本構想のイメージ図の中で、 <u>町のイメージを表現。</u> 【基本構想 p. 37】
---------	--------------------------------------	--	--

6. 横のつながり

発言者	委員意見	事務局回答	具体的な対応・資料への反映
有田委員	p.21 横断的な目標について、定住対策も子育て支援対策も横断的に取り組むべきだと思う。基本的な目標の中に「 <u>横断的に人口対策に取り組む</u> 」というのがあるのも良いのではないか。	横断的な取組みについても、もう少し具体的に人口減少対策も含めて取り組めるようにしていきたい。	以下の項目を追加 5.計画の運営方針 (1)計画の進行管理
山本委員	<u>小さな拠点づくりの各地域の中で分析し、出た課題から解決を目指している</u> ので、これらと総合戦略が連携し、一体となった関係づくりが必要だと思う。どう <u>関係調整を行っていくか</u> が <u>一つのカギ</u> になるので、取り組んでいけたらと思う。		(2)推進体制 【基本構想 p. 3】

植田副会長	<p>戦略的に網羅するには、必ず子育てや教育、地域、観光等がかかることは必ず出てくるので、そういう点での<u>横串を指すような仕掛けで、実践していただきたい。</u></p>		
島会長	<p>第2次総合計画の基本的なきもとして「<u>つながり</u>」という言葉がある。<u>つながる仕組みをつくる、色々なものをつなげてコーディネートする力を持った町の専任スタッフや団体、ボランティア等が必要である。</u></p> <p><u>コーディネーションを横断的に取り組めるような、具体的なイメージができるものを理念に入れてほしい。</u></p>		<p><u>基本計画「①効率的・効果的な行政サービスの推進」で表記</u></p> <p><u>(3)民間活力の導入</u> ⇒民間の専門的な知識・ノウハウを活用し、行政業務のアウトソーシングを推進します。</p> <p><u>(4)住民と協働のまちづくり</u> ⇒まちづくり活動のネットワークづくり、地域リーダーなどの人材育成・強化を図り、住民参画事業の充実と人的ネットワークづくりを進めます。</p> <p>【基本計画 p. 29】</p>

7. 若者の意見反映

発言者	委員意見	事務局回答	具体的な対応・資料への反映
村尾(明)委員	若者の新しい風を起こすような、若者の活躍できる社会を目指すことを鮮明にする内容があっても良いのではないかと。つまり奥出雲町は若い人に期待する。プレッシャーではないが、何かエールを送るような内容があればと思う。	どういう形で文章の中に入れていけるか考えさせていただく。	基本構想「3.まちづくりの姿勢」を <u>若い世代の夢や挑戦を応援して一緒に夢を実現する</u> などの趣旨に編集 【基本構想 p.28】
和泉委員	山間で自然があれば全て良いわけではなく、中にはワーケーション、テレワーク、会社に近く、自然があるところに一番希望がある。奥出雲町に少しでも興味を持っていただく方法を積極的に探り、対策を講じていく方針を具体化しないといけない時が来ている。 <u>若い方が何を町に求めて、町がそれをどう実現できるかを突き詰めていただきたい。</u>	ご意見については、具体的にどう入れるのか難しいこともあり、今後個別の計画で検討する必要がある。	基本計画「③多様性社会の推進」(2)多様な人材が活躍する仕組みづくりに追記 <u>⇒若者や女性の声を地域づくりに反映する場を設けるなど</u> 多様な人材が地域社会の維持存続に向けて活躍するコミュニティ活動を支援していきます。 【基本計画 p.14】
山本委員	若者の活躍の場というのがあったが、委員の中に <u>子育て世代や若者の意見やアイデアを反映する場がどの様に確保されるのか</u> ということも気になる。	より実践的な所では、若者や子育て世代が望むものを確認する必要がある。 若い方や子育て世代の方等にも十分な意見をお聞きしながら実践を進めていけたらと思う。	

8. 人口減少対策について

発言者	委員意見	事務局回答	具体的な対応・資料への反映
藤原(直)委員	(人口減少対策に対して) これまでの努力の継続に <u>プラスαの効果的な施策</u> が必要になる。その辺りで何か秘策などあるか。	一過性の特効薬はないが、これまでの良い事業は継続し、効果のない事業は変更していかざるを得ない。	基本構想「(4) 総合計画の実現に向けて●多様な主体と連携するため、行政アカウンタビリティの向上を図ります」を修正 「意見交換の場」⇒「 <u>女性や若者をはじめとする様々な立場からの意見を収集する場</u> 」に変更 【基本構想 p.4】
若月委員	子育てを考えた時に、母であり妻である女性が反対しても移住することは今の時代ではない。これからも子育ての環境は様々な形で整っていくが、これまでの土台を大切にしつつ、 <u>時代の流れ、要望を取り入れながら子育て、教育、医療などが安心できる町</u> にしていけば、柔らかな考えの女性が意外と受け入れてくれるのではないか。	若い女性に選ばれるまちを目指し、町長も若い女性の意見を聞くと申しているの、ご意見を参考させていただき、 <u>具体的な施策のところ</u> でご助言を頂ければと思う。	

9. 情報発信・プロモーション

発言者	委員意見	事務局回答	具体的な対応・資料への反映
和泉委員	発信は効果的な方法で絶やさず続けるべきだと思うので、一つの策として <u>インフルエンサーを使った発信を入れたらどうか</u> 。町の発信として効果的な一つの方法ではないかと思う。	p.28 (2) の戦略的シティプロモーションのところは、観光を含めた様々な分野に共通しており、様々な方から発信してもらう仕組みづくりなど取組みを強化していく必要がある。	基本計画「②官民協働による戦略的シティプロモーション」(2) に <u>インフルエンサーとの連携について記載</u> 【基本計画 p.30】
足立委員	奥出雲町の子育て環境の良さなどを SNS で発信していくことで、奥出雲町で子育てをしたいと思い、UI ターンで来ていただく人が少しでも多くなると思う。	子育て環境に関しては、現場で働いている保育士の先生方が一番よくご存じだと思う。その辺りはご意見頂戴しながら、よりよい子育て環境をさらにバージョンアップさせていきたい。	基本計画「①結婚・子育て支援の充実」、 「②官民協働による戦略的なシティプロモーション」の各施策において、 <u>魅力である“子育て環境”を戦略的プロモーションで情報発信していく</u> 。 【基本計画 p.15 p.30】

10. 情報通信

発言者	委員意見	事務局回答	具体的な対応・資料への反映
和泉委員	全体平均に通用する <u>ネット環境を確保することはまちづくりの一番大事な所</u> ではないか。その莫大な予算を作るために、今一度歳出の内容を吟味していく良い機会だと思う。		基本構想(2)基本目標「基本目標⑦産業と暮らしを支えるインフラをつくる」に追記
福田委員	(情報通信の環境について) 選択肢がないのは問題だと思う。町でできることがあれば最大限やっていただきたい。	その辺りは時代に合ったように、町民の期待に沿うものに近づけることは非常に重要なことと思う。今後できる限りのことはやっていきたい。	⇒特に <u>情報通信基盤については、今後の地方創生と地域課題解決のために欠かすことができない「society5.0」を推進する</u> 基盤整備と人材育成を推進します。
植田副会長	(情報通信の環境について) 町民にきちんとした情報提供をしていただきたい。情報のツールが遅いだけで、町の設備が悪いと思うきらいがある。すべて町民に話した上で、今後どういうスタイルをとるか考える必要がある。今まで町が情報インフラに予算をつぎ込んで50MBまで至った経緯など、理解していただくことも重要なことなので、情報発信していただかないと困る。	ご指摘の通りこちらからも皆様に十分に説明できていなかった部分がある。折を見て様々な形で説明し、ご意見もいただきながら先に進めたい。	【基本構想 p.31】 基本計画「④地域情報化」において、 <u>(1) 情報通信基盤の整備、(2) デジタル化社会に対する人材育成等の推進、(3) 情報サービスの充実</u> などの各種取組により推進する。
大垣委員	50MB がパンクする状態がこの先来るのではないかと思う。この問題は50MBでは終わらず、時代時代の流れに沿って行かないと、 <u>若者に選んでもらえる自治体にはならない</u> と思う。町にとっても大きな課題だと思っており、他自治体を参考にしながら、ここだけの話で終わらず続けていただきたい。		【基本計画 p.28】